

GIANNI VERSACE FASHION FOR THOUGHT

● ジャンニ・ヴェルサーチ衣装文化展より

VERSACE FOR THE THEATER:

—— ヴェルサーチと演劇 ——

表象の帝国

THE EMPIRE OF KINGDOMS



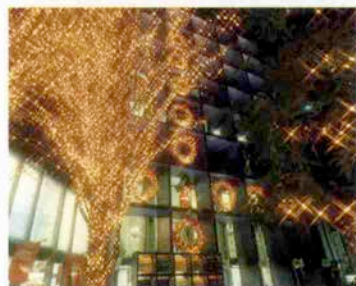


撮影協力:神戸市立博物館 カメラ :株式会社 サンユーフォトクリエイティブ



旧居留地散歩⑧

PRODUCED BY KOBE DAIMARU



GENIUS GALLERY

ジーニアス・ギャラリー

<年内無休>

神戸市中央区西町33 / 11:00AM~8:00PM

<ジーニアス・カフェのみ 10:00AM~8:00PM>

●ジーニアス・ギャラリーへのお問い合わせは
大丸神戸店(078)331-8121まで



INTEREST ambivalence

インタレスト／ジーニアス・ギャラリー1階

時代の流行を追いかけるのではなく、住むことへのこだわりをAmbivalence(両面価値感情)としてとらえ、和と洋、伝統と革新を融合させたショップ、インタレスト。アイテムとしておすすめしたいのは、気持ちの良い、理にかなった家具(江戸指物三代目前田純一作)や、テディベアなど。特にテディベアは、ヨーロッパやアメリカをはじめ、世界中の人気を集めています。クリスマスを前に、ハンドメイドの香り漂うインタレストのグッズは、クオリティーの高いギフトとして最適。あなたのためだけのクリスマスギフトを、ごゆっくりお探しください。



ベネチアン香水瓶(イタリア製) … ⑥9,000円
⑤8,000円

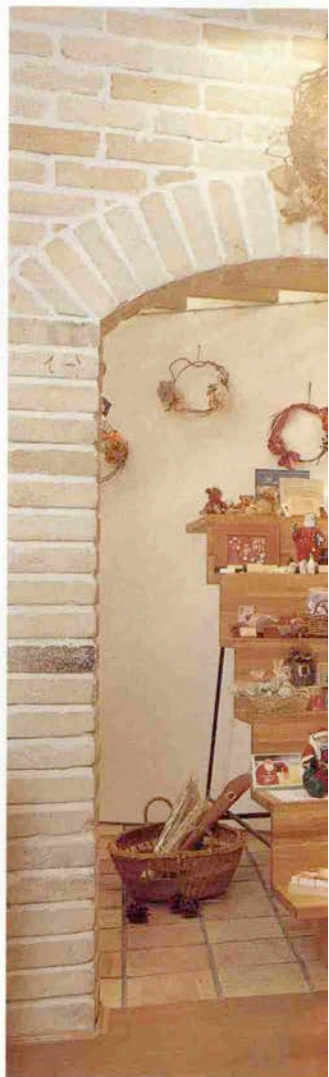


ブラニンガークリスマスプレート 15,000円



テディベア(Scotty)48,000円

※表示価格の3%を消費税として別途頂戴いたします。



北野坂の美しい聖夜を
シェ・ラ・メールにしむらで…。



truffles

ヤル～王家仕立て～

●シェ・ラ・メールにしむらは正月6日より平常通り営業です。



Joyeux Noel

クリスマスメニュー

Terrine aux fruits de mer
海の幸のテリーヌ

Consommé Royal aux oursins et
海胆とトリュフのコンソメロワイ

Pâté chaud de Canard
鴨の温かいパイ包み

Ama-dai braisé au safran
甘鯛のブレゼサフラン風味

Granité au Kaki « Chez la Mère »
柿のグラニテ シェ・ラ・メール風

Filet de bœuf, sauce piquante
牛フィレ肉、ソースピカント添え

Gâteau de Noël
クリスマス菓子

Café
珈琲

¥15,000
(おみやげつき)

フランス料理

シェ・ラ・メール にしむら

神戸市中央区山本通2-1-10

TEL 078-242-2467

クリスマスメニューは22日(日)～25日(水)。
尚、お昼(11:30～14:00)は特別メニュー
の他に、ミニクリスマスメニュー
(¥8,000 税サ込)もございます。年末
は12月28日(土)まで、新年は1月5日(日)
より営業致します。

ハ ー ト ・ シ ヨ ン ク パ ー ク ヨ ク ン



メリーヒル	三愛
ゲルラン	キャンディッド・マス
ボンフカヤ	メイソンブルー
シス	フォーセット
ルーブル・プライダルサロン	ベネトン
ダイアナ	ラッキーズ
ミッシェル・クラン	ハニーハウス
クロードレマ	メンズ・パッケージ
タカノ	ヴィフ
ココ山岡	サンクスクラブ
	ロイス・クレヨン
	アラブ・グレイプ
	ミシュ
	リップスター
	リーフ・ノット

FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ、センタープラザ3F
営業時間 am11:00 - pm8:00 PHONE 078-332-1698

12月は休まず営業いたします。

二十歳になったとき、最初にしたことは、小さなひとり旅。ひとりで行き先を決め、ホテルを予約して知らない町を歩く。いま考えると何でもないことだけれど、あの日の胸の高鳴りや、晴れがましいような不安な気持ち、昨日のことのように覚えていて、女の子にとって、二十歳になるってやはりとても重大なこと。これからは自分で自分をさくさくさせたい、素直な女性になるのは自分次第だと思っから。

二十代は女性がいちばん美しい年代、それは外見上のことだけではなく、内面についてもいえること。でも、どんな宝も、磨かなければたの石であるのと同じように、女性としての魅力を輝かせるためには、努力や自己投資が必要だ。投らこめる仕事や趣味を見つけたら、旅行でもスポーツでも習い事でも、自分の好きなことや夢中になれるものには、時間もお金も惜しまない。

服やアクセサリーで本物をひとつずつ身につけていくのも、二十代から、この時期にだけ自分に投資し、どんな生き方をするかで、女性としての人生は、ほぼ決まってくるように思う。

二十歳の誕生日に自分に贈った初めてのジュエリー。その輝きに負けないくらい、素敵な大人の女性をめざしたい。

プレゼントラッピングを無料でいたします。

ファッションパークでお買い上げのレシートをインフォメーションコーナーへご持参ください。

176 174 152 148 147 144 142 140 138 136 134 132 131 128 126 122 118 117 114 113 104 84 76 74 68 62 61 54 49 44 42 40 38 36 34 33 31 20 18

これは神戸を愛する人々の雑誌です。
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です。

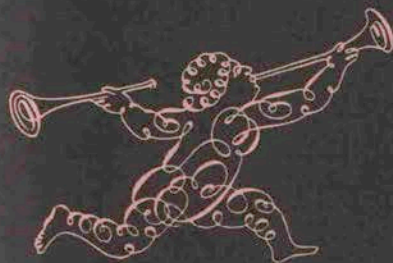
12月号目次 ● 1991 368

表紙／故 小磯良平名作シリーズ
セカンドカバ／飯山友子
神戸っ子91／長谷川滋利
ある集い／アルカディア協会、ブディ・タ・ブディ
神戸スナップ／布引ハープランド・KFFパールフェア91
モーツァルト像完成
30周年記念企画／ART KOBÉ 宮崎豊治
ジャズニ・ヴェルサーチ文化衣装展より 表裏の帝国
わたしの意見／箱石育三
ボエム・ド・コウベ／吉田草平
随想二題／水谷順介 小西綱甫
地域文化論／田中千佳、西村功
連載エッセイ／中野実、西村功
トランベツト片手にブラジルひとり歩き／右近雅夫
私と神戸／天の劇場からよせて
映画特集Ⅰ／対談 淀川長治vs横田紳朗
映画特集Ⅱ／神戸をシネマタウンに
甲南大学開学40周年に寄せて
経済ボケツトジャーナル
キャンベーン座談会／ニュークリエーターは語る
松永千春・辻内恵子・山下博子・近藤徳明・半田美智・若井和光
神戸JC世界大会
話題のひろば／OSEALフォーラム
フアッシュionsボット
神戸のお嬢さん／光井里香、陳麗清
ネオヒーブレイク
コーヒーブレイク
亀井一成のズーム・イン・ZOO／神戸に欲しいオオアクリイ
タウンインタビュー／松宮隆男
ふたたびプロフェッサーの研究室／岡田淳
Kobe Topics
西日本タウン誌コミュニケーション別府大会
小磯良平遺作展によせて
KF5ニュース
神戸を福祉の町に／橋本明
有馬殿時記
モダンカルチャー
シネマ試写室／映画大学と映画のこと 淀川長治
神戶っ子倶楽部会員情報
ボケツトジャーナル
びびっといん
読む切り小説／神戶／マリリンコーナー 文・有井基
北野物語 作・夏田ゆらこ 絵・上尾忠生
目次写真／新谷瑛紀
カメラ／米田定蔵・池田年夫・松原卓也・森田篤志
森田純三・泊 浩久

PIAZZA DEI SPAGNA・ROMA
BY YUKI SHINTANI・1991



91 2 28



Nakanishiji mesena

● 中西幸子追悼行事

ニューイヤークンサート

第1回KOBELIVE音楽コンクール受賞発表

とき 1992年1月9日(休)

ところ 神戸文化ホール

特別出演

小笠原 暁	水澤 節子
田原祥一郎	ピアノ
松本 幸三	田淵 幸三
小村 亮三	松本 玲子
田中 淳子	浅井 康子
反橋 恵子	

プログラム

オペラ「ランメリモールのルチア」より
夜のとはり静かにとさし
オペラ「アイーダ」より
勝ちて帰れ
オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」より
ママも知るとおり
オペラ「ハリアッチ」より
フロローク
オペラ「エクゲニ・オネーギン」より
レンスキーのアリア

他

受賞者

中西幸子賞 永江征子
(主婦)



浦上諄子
(主婦)



最優秀賞 増田朋子 (東京芸術大学在学中)

コンドル賞 川中恵子 (大阪音楽大学大学院在学中)

貞清直美 (大阪音楽大学大学院終了)

入選 油井宏隆 (大阪音楽大学在学中)

主催 神戸ライブソサィティ

後援 中華人民共和国駐大阪総領事館

収入金は、
中国水害義援金として、中国総領事館へ寄附致します。
※招待券を10名の方にプレゼントいたします。御希望の
方は、月刊神戸っ子までお申し込み下さい。(先着順)

中西興業株式会社 〒650 神戸市中央区南長狭3丁目3番5号
TEL 078-341-1111 FAX 078-341-1118



コンサートを終えて、皆で「北国の春」を大合唱

中国留学生慰問 第1回水害義援公演報告

「THE KOBELIVE SOCIETY(ザ コウベ ライブ ソサィティ)」は、第1回の活動として11月22日、かんしんホールにて「中国水害義援公演」を行いました。

中華人民共和国駐大阪総領事・貴永中氏、神戸地区中国留学生联谊会々長・洪再生氏のあいさつで始まり、松本幸三、玲子、奈々さん、反橋恵子さん、小林祐子さんらによって、日本の唄、オペラアリアなどが唄われました。約150名集まった聴衆の方達は熱心に聞き入り、最後は、今中国で流行っている「北国の春」を大合唱して和気合々の雰囲気、幕を降すことができました。

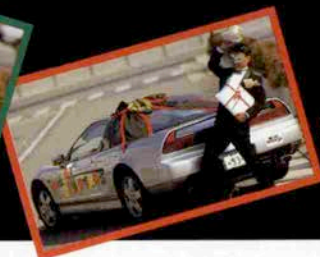
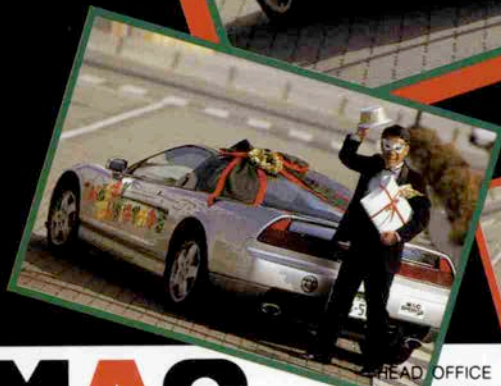
この収益金及び協賛金に中西健二代表の寄附金を加えて12月6日、中国水害義援金として中国総領事館へ寄附いたしました。

クリスマス物語

タキシードは魔法の力、
何もかもが
クリスマス



フォーマル ウェアの
オーダーメイドお受けします。
(タキシード・ダークスーツ)
¥79,000より
アクセサリも揃っています。



MAC
SINCE 1895 KOBE

HEAD OFFICE 7F NEW CENTER 1-6-22/SANNOMIYA-CHO CHUO-KU KOBE CITY 078-392-1651
SANNOMIYA MAC
THE BLAZER SHOP MAC
DOLCE MAC
FESTA MAC
BENET TON MAC
BENET TON MAC
SUNVIOLA MAC
PLENTY MAC
SANNOMIYA CENTER-GAI 1 078-391-0895
TOR-ROAD 078-391-0896
SANNOMIYA CENTER-GAI 2 078-332-0141
HIMEJI FESTA 2F 0792-89-4738
HIMEJI FESTA 3F 0792-22-1333
AKASHI FORUS 4F 078-913-8142
TAKARAZUKA SUNVIOLA 3F 0797-71-4830
SEISIN PLENTY 2F 078-992-0088



左から神戸フローラルアートスクールの大野トキ子先生、石見佳代子さん、平瀬由佳さん、山口素子さん、塩谷和子さん

しゃぶしゃぶ アンナアン

営業時間
ランチタイム 11時～13時
ディナータイム 15時～19時

しゃぶしゃぶ専門店 **アンナアン**
神戸市中央区三宮町1-10-1
☎(078) 391-3964

美しい花は人の心を豊かにしてくれます。神戸フローラルアートスクールの大野トキ子先生も、“生花を生活空間にトータルに取り入れたい”と毎日ご活躍です。心豊かにするのはおいしいものと同じ。アンナアンのしゃぶしゃぶと楽しい仲間、楽しいパーティーの始まりです。

- 会席しゃぶしゃぶコース ￥4,000
おしゃれな会席としゃぶしゃぶ。魅力いっぱいのコースです。
- スペシャルしゃぶしゃぶコース ￥3,000
特選牛ロースのやわらかさを自家製ゴマダレでお楽しみ下さい
- 食べ放題パーティーコース ￥5,000
4名以上で牛ロースの食べ放題。新しいパーティーの提案です



□私の意見

日本人の器量

箱石 育三

△朝日新聞神戸支局長△



一九九一年もあとわずかで終わる。

湾岸戦争、ソ連の八月革命を頂点とする社会主義国家の崩壊。間違ひなく世界史の転回点として記録される年だ。国内に目を転ずれば、銀行、証券会社の金融不祥事、宮沢内閣の登場、タレントのヌード写真集騒ぎ。パブルが破裂して、空気ならぬウミが噴き出した。雲仙・普賢岳の爆発は、この国のありさまにたいする山の神のおさまらぬ怒りか。

いつの時代でも歴史の主役は人間である。

今も健在らしい敗軍の将フセイン、数日の反乱の境に影が薄れていったゴルバチョフ、戦車の上で演説したエリツィン、幽閉の身でノーベル平和賞に輝き、人気抜群のスーチャーさん、「重大な決意」の一言で、総理の座をフイにした海部前首相、一国の政治を、幕の裏で操る金丸信、料亭の一女将に数千億円もの金を貢いでいた金融機関のエリート社員たち。

事件は社会の鏡、人が歴史を作る、というのは古今東西変わらぬ格言だが、世界に比べてわが日本の主役たちの「大根役者」ぶりは際立っている。

仕事柄、さまざまな人にお会いする機会が多い。記者生活三十年。政財界や市井の人々を身近に見て来たが、このごろ気になるのが「人間の器量」。最近の風潮を見るにつけ、日本人の器量にほころびが出始めたような気がしてならない。

モノやカネといった欲望を満たすことが善であるという社会が長く続いた結果、財力、肩書に飾られた人間が随分増えた。子どもの世界は偏差値が、大人の世界は金力という化物が支配する。日本人が持っているはずの他人に対するやさしさ、いたわり、正義感、胆力といった美質は、どこかへ置き去りにされたままだ。

こんなに変容を遂げた民族は珍しいのではないか。経済大国となって貿易摩擦を起こし、文化摩擦までさやかれる。地球がさらに狭くなる二十一世紀に向けて、日本人はどんな器量を示していくのだろうか。

お子様の夢をはこぶ
クリスマス
デコレーションケーキ



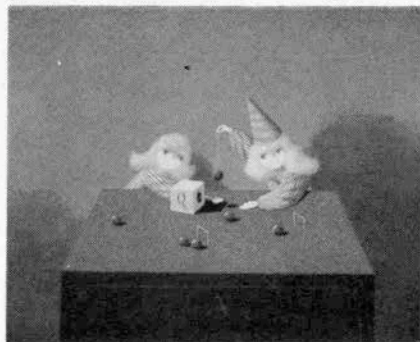
今年も、ユーハイム・コンフェクトの
クリスマスデコレーションケーキをかこんで、

心に残るあたたかい
クリスマス・イヴをお過ごし下さい。

生クリームケーキ	6号	¥ 3,500
チョコレートケーキ		¥ 2,300
バタークリームケーキ	(18cm)	¥ 2,300

—— 北 欧 の 銘 菓 ——
ユーハイム・コンフェクト

KAKINUMA GALLERY



六つの玉
(油絵)

江口まひろ・作
新協美術会委員
現代画廊会常任委員
日本美術家連盟会員

——詩的な幻想にあふれた美しい情念の世界
肉眼に写らない真実や、お金に換算できない
価値の存在を感じてもらいたい。

(柿沼産婦人科に展示12/1~12/31)

芦屋 柿沼産婦人科

★健保適用 産婦人科・内科(女性専科)



阪神芦屋駅北へ1分・芦屋警察署東隣り
☎ (0797) 31-1234 (FAX兼用)

月曜～土曜まで診療しています。木曜・土曜は午前のみ。

当GALLERYに掲載ご希望の方は月刊神戸っ子まで御連絡下さい。

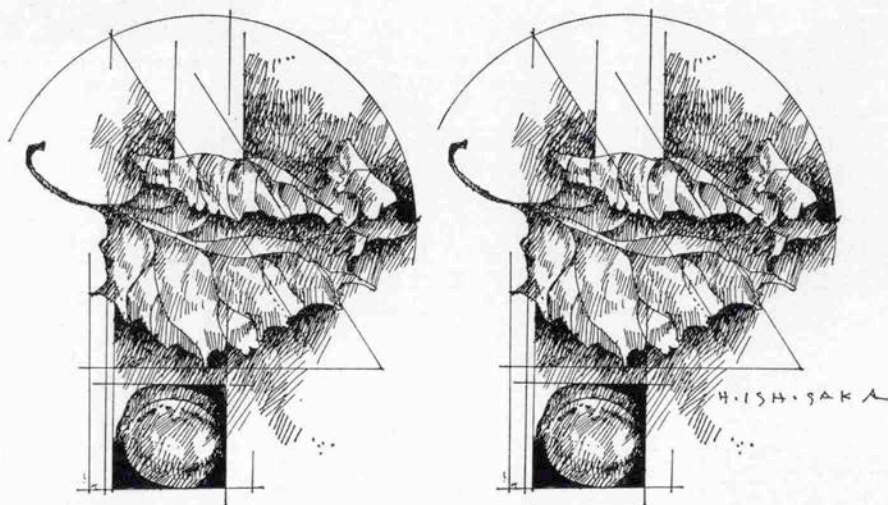
雪と白猫

吉田草平

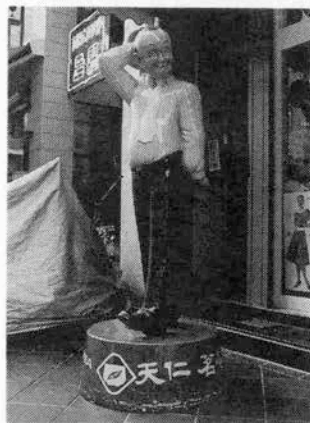
絵／石阪春生

いちめんの雪のなかを
白猫があるいている

生活しているぶん
猫はくろい



随想 二題



SIGHTSEEING KOBE 6.
南京町

乙女ばあさま

独り言

加藤 三枝

《フラワー
デザイナー》



を感謝しております。

北山時雨が樹々をぬらし、日一日と秋が濃くなって行きます毎日、私は明日を考える姿が大切と思つて過しています。菊の香の庭に今年も石榴が沢山実を付けました。ルビーの様な赤い実、ローダミンピンクに輝く皮の色は私の自慢の色、画を描かれる方が、一つ分けて下さいと時折入っていらっしやいます。客人を大切にして暮しております。

アートフラワ

ー、生花のブーケ、ブートニア、コヘア等をお教える様になつて25年になりました。花を愛して76才の人生です。花嫁様のブーケをお造りする時は夜中一時に起



著者近影
マキシンの帽子をかぶつて。

床、九時に美容室から受取りに來られます迄、一つ一つの花々に祈りをこめお幸せであれと念じつつ制作致します。

明日の晴天を約束する夕焼の様に美しく大きな心であり度い、そして知らない内に若い人達が私の歩いたレールの上をついて歩いて来て下さる様な乙女ばあさんでありたいと思っています。心の榮養を感謝して毎日頂きます。太陽、山の緑、爽やかな風は心の榮養です。よく歩き、太陽によくお目に懸りましょう。

五人の子供夫婦は、素晴らしく親孝行で優しい言葉を送ってくれます。時には、神戸、大阪、宝塚の嬉しい品々も一緒に。今、私は世界一幸せな、嬉しいおばあさんです。

(一九九一年 初秋)

神戸は私の一番好きな街、トーアロードにはロマンがありモダン、その上に上品です。デリカテツセン、マキシシ、フロインドリブ、伊藤家具、そしてベニの毛皮屋さん、夫々のお店がお客様を大切に温い心で迎えて下さいますので、お伺いしてほんと致します。大好きな品を手中に、いそいそと京都に帰ります。又品物をお送り頂く時の待つ間の楽しい事：生きていてよかったと思う位です。若い頃は銀座にもよく参りました。五丁目の白牡丹で帽子を求め、和光も大好きで種々な想い出の品も残りました、その御縁で銀座百点を今も送って頂きます幸せ

創流一〇五年を 迎えて

二代目

小西 絹甫

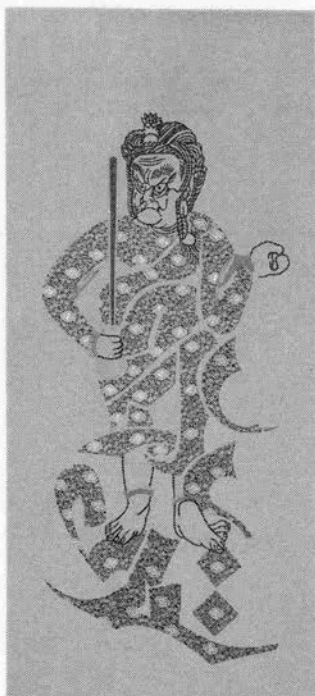
「みやび流押絵」
家元



「みやび流押絵」創流一〇五年を記念する「みやび流押絵・豪華本」の発刊にちなみ、去る十月三日から七日まで、大阪心齋橋大丸で開いた「二代目・小西絹甫作品展」には、地元の押絵愛好家の皆さまは元より、東京や九州などからもご来場下さり、予想をはるかに上回る大勢のかたがたをお迎えいたしました。

このたびの私の出品は、万国図から採った「スペイン王侯騎馬図」をはじめ、江戸時代の「お面売り」や、二〇〇年ほど前の裂地を用いた「踊り」など。

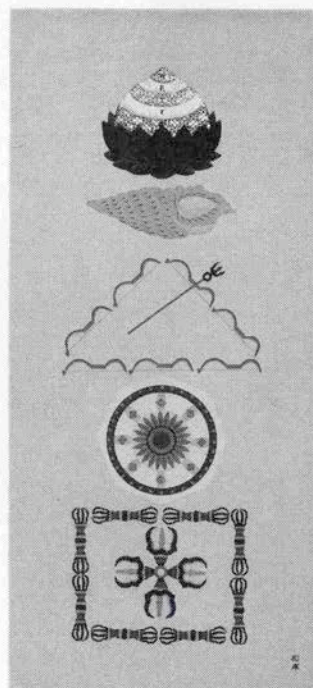
後を継ぐ小西松甫は、森羅万象を五輪の塔のように配した「キャ・カ・ラ・バ・ア」ほかを――。



小西絹甫作「不動明王」

押絵は古くから伝わる手芸ですが、明治四年、大阪船場の薬種問屋の三女に生まれた祖母の、初代・小西絹甫は、伝わるままの形ではあきたらなく思い、工夫研究を重ねて、新しい押絵の道をつくり出しました。

すなわち、題材を花鳥風月の静的なものから、雅楽、能楽、歌舞伎、浮世絵など動きのある風情にまで、またどこぞ素材も、屏風や衝立て、額などの家具調度品にまで、押絵の世界をひろげました。時代とともに新しい心境でかずかずの大作を手がけ、昭和三十二



小西松甫作「キャ・カ・ラ・バ・ア」

年に「兵庫県文化賞」を受賞、同四十一年春の叙勲に際しては「勲五等・瑞宝章」を賜わるなどの光榮に浴しました。昭和四十五年の秋、初代・絹甫は百歳の天寿を全うし、私が跡を継ぎました次第。

このたび上梓する「豪華本」は初代・絹甫の作品として、「源氏物語・早蕨」や、能楽の「大原御幸」「羽衣」など二十九点。二代絹甫の「風神・雷神」「花見鷹狩図」など五十点、小西松甫の「波の舞」「ツタンカーメン」など十二点、さらに各地教室の門下生百五十名の共同制作二点、計九十三点の作品を、カラー印刷で定評のある「アート光村」によって原色版で納められています。

このたびの「豪華本」の発刊を大きい節目として、時代と共に変わってゆく生活や建築に調和し、心豊かな暮らしに資する押絵を目ざし、いっそう精進したいと心に期しております。

地域文化論

△その148▽

「アジア型ウオーター・フロント」というテーマをかけたワーク・シヨップ

水谷 顕介△都市計画家・建築家▽

福岡市も日本の多くの都市と

らんで、「アジア」との交流を
 かけている。今年も9月を中心
 して「アジア・マンス」を設定
 し、映画祭、美術展など様々な催
 しをおこなった。それに時期をあ
 わせて、一過性の企てだけでな
 く、将来に生きるべき事業を意
 図して、タイのバンコクに設立さ
 れているアジア工科大学と福岡地
 元の九州大学・九州芸術工科大学
 の大学院生とのワーク・シヨップ
 を開催した。昨年と今年で2回
 目、まず10年は持続してみよう

いうプログラムである。

今年は、アジア工科大学からイ
 ンド2人・バン格拉ディッシュ1
 人の計3人を招き、前半一週間

は、東京・京都・奈良・松江・広
 島と厳島・福岡と国内旅行を楽し
 み、後半一週間が、市役所各局で

の現地研修的な勉強を交えての博
 多湾を事例としたケーススタディ

で、9月17日に共同発表会。アジ
 ア工科大学組は、博多湾岸地点に

相互を眺めるいくつかの塔を立て
 ようという案だった。国内旅行中

に、五重塔や鳥居や小さな神社を
 見て、ハイテクの国日本での伝統

共存にいたく興味をひかれた結果
 らしい。前半一週間の旅行は見学

すべき場所が多く忙しいが、お互
 いの気心がわかり食事の好みなど

各国の風習も理解しあえる。アジ
 アからみると日本の食事は違和感

が無くソフトでマイルド、かつ美
 しい配膳だと感心してくれた。奈

良平城京の発掘事務所の見学にも
 熱心で、土地を買い上げられた後

の人々が現在どう生活を支えてい
 るのかなど核心をつく質問をして

いた。また、掘立て柱の底にお金
 や賄の緒を埋蔵していたという当

時の説明を聞くと、インドやベト
 ナムでは現在もそれをやっている

と話してアジア文化の連続性を実
 感させてくれた。

ところで、アジア工科大学は、

アジア二十カ国から選択派遣され

た大学院生なので、年令も27・28

才で国内の大学院生より経験も深

く、責任感も高い。今年の3人

は、18人の希望者のなかから選考

されたわけで、日本の事情への関

心も高く熱心なのは当然の事情、

それにしても、日本の大学院とな

んと格差のあることか。

ワーク・シヨップの作業になれ

ば、その内容へのとりくみや作業

実力はなお歴然とした格差で、昨

年の場合も、博多の櫛田神社と聖

福寺を結ぶ歴史街区を町角美術館

などを導入して再生する見事なプ

ロジェクトを画いてみせて感心さ

せられた。町角美術館のアイデア

は、国内旅行で奈良町を訪ねた時

に仕込んだストーリーをうまく変

換させたものだった。その鮮やか

さに日本の大学院組はただ啞然と

し、自分達の實力に落胆してしま

い、彼らの指導教授は、その後数

週間、彼らをなぐさめるのに大変

な気をつかったそう。

最近、大学で教えていても、学

生達の無気力さには、ほとほとま

いる。先生方が自分の事で非常に

忙しく、学生達とつきあう時間が

限られていくのも要因である。

「経済」ではアジアに協力できる

つもりでいるのが日本なのだろう

が、大学院生のこういう現状に接

してみると、アジアとの交流は前

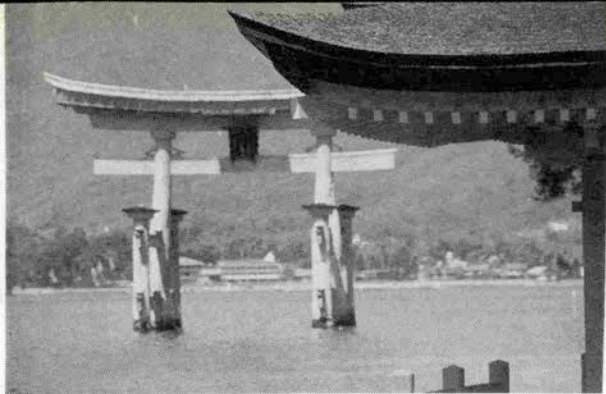
途多難と思え、逆に、アジアの大

学院生の實力と前途有望さを認識

できて有意義な体験だった。10年

間のプログラムに期待と不安がい

っぱいだ。



厳島神社



毎晩10分間のエクササイズは私の日課。

3日坊主になると
思っていたけれど、
今日で丁度3ヶ月が過
ぎた。ようやくブヨブヨ
していた下腹がしまってきた
の。でも、オシリや太ももは
何の変化もない——。

私は日本人特有の
下ったヒップの持ち主なのね。どうして外
人さんのオシリってカッコイイんだろう？
それに、太っている人も足は細いんだよね。
どうしてかなア？

焦らずに時間をかけて運動を続けるのがベターら
しい。でも、焦っちゃうよねエ。だから、最近耳
にする脂肪吸引の手術を考えてみたの。余分な脂
肪を吸い取っちゃうから、たった1～2時間であ
こがれの体型になれるんだって。

費用は、部位によって異なるけれど、40～60万
円位。この際だから無料カウンセリングを受けて
みようよ。

品川美容外科

神戸 078(331)7183

神戸市中央区三宮町1-3-3

小林ビル6階

男性専用 078(331)4102

●東京 ●大阪 ●名古屋 ●福岡 ●鹿児島
●広島 ●京都 ●横浜 ●千葉 ●仙台 ●札幌



SAMOTO CLINIC

佐本
産科

ママといっしょに



赤ちゃん：高田 彩実ちゃん（平成3年8月6日生）

マ マ：千秋さん お兄ちゃん：涼太くん

「素直で思いやりのある女の子に育ってほし
いです。」

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15

☎575-1024(病室☎576-9639)

市バス上沢4 停南スグ



□ エッセイ 14

一人上手

田中千佳〈作家〉

カット／西村 功

もう随分昔になるが、中島みゆきさんの歌を聞いていたら、『好きで一人上手なわけではない』という個所があった。『あなたがこちらを向いてくれないから、仕方がないから一人上手をしているのよ』というような内容だったと思う。その『一人上手』という言葉に魅かれた。うまい表現だなと思った。その時はそれだけだったのだけれど、先日この言葉を思い出して苦笑いしてしまった。この言葉は今の私にぴったりである。

夫を亡くして八カ月になる。始めの内は、朝に夕に泣いてばかりいた。これはもう止めようもない。何を見ても思い出に繋るのだから、泣くなという方が無理である。こんなにも涙が出るものと自分でも驚く程だった。

岡本の駅を出て、よくこの道を二人で歩いたなと思った途端、涙が溢れてくる。みっともないから止めようと思っても、止らない。しゃくり上げ

ながら歩いていると、すれ違う人々がげんな顔で皆振り返る。それが毎回のだから困ってしまった。何度も恥ずかしい思いをしてしまった。

車を運転していても、彼の好きな徳井の交差点（国道2号線）に来ると、自然に涙が湧いてくる。三宮からの帰り道、夫は必ずこの交差点で左折した。いつもいつも彼のことは考えているわけでもないのに、条件反射なのだろう。昔、赤ちゃんのことを思うだけでオッパイが張ったことがあったが、あれと同じなのだろうか。涙で前が見えなくなると危険だからと自分に言い聞かせても、どうにもならない。

子供の頃から『元気印のお陽』などといわれてきた私が、こんなにもシクシク、エーンエーンと泣き続けるとは思わなかった。私は自分を持って余してしまった。亡夫がとてもいい人だったのは確かだけれど、泣いたって泣いたって、彼が帰って

こないのも確かである。

長い間、彼の大きな掌の上で好き放題させてもらっていた。その掌がなくなってしまうと今、私が多少、情緒不安定になるのは当然だとしても、少し度が過ぎやしないか。もっと理性的に対処できないものか。私は自問自答してみた。いろいろ考えてみた。

結論として、とにかく忙しくしてみることにした。どんどん予定を入れて、走り回った。体が疲れば、ぐっすり眠れるだろうと思ったのだ。しかし、疲れと共に残るのは、空しさだけだった。時間を潰すだけでは駄目なのだ、夢中になるものが必要だ。

じゃあ、どうすればいいのか。そうそうと、私は思い出した。

『宅地建物取引主任の資格を取らないか。将来、何かの時に役に立つと思うよ』

夫は私に勉強して試験を受けるように勧めていた。今から勉強なんてしんどいなあと思い、その頃、私は乗気ではなかったのだが。彼があんなに言っていたのだから、やってみよう。積極的に立ち上がってみようと思心した。

すぐに某不動産学院へ行ってみた。入学して分かったのだけれど、凄いや学院で、暑い夏中、しごかれまくった。毎日、テストにつぐテストである。若い人達はどうぞん覚えて確実に点数を取る。最高年令の私は情けない思いの連続だった。しかし、止めようとは思わなかった。すでに納めた高い授業料が勿体なかったこともあるが、夫が付いていて励ましてくれたような気がする。もう泣いている暇はなかった。

十月のテストが近付いてくると、教室全体の緊張度も増してきて、全員狂気の状態だった。そして、テストの点数も全体的に上昇していた。その中で、私一人下降したのである。頭が割れそうだった。睡眠不足でしんどかった。駄目かも知れない。悲しかったが、とにかく最後までやってみることにした。

本テストの問題は思ったより易しかった。落ちていて処理できた。後で採点したら、39点だった。合格点は35点だから、まあいけるのではないかと。嬉しかった。ずっと我慢していたビールで一人で乾杯した。写真の夫はほのかに笑っていた。引き続き『不動産コンサルタント講座』を受けることにした。別にこれで商売をする気はないが、宅建の知識を具体化して身につけたいと思っている。やっとな積極的に前進する元の私に戻ることができた。

ここまでするのに、他人の手を借りることはできなかった。すべて一人で判断し、対処しなければならぬ。何と一人上手だったことか。私は自分がいとおしい。よくやったと思う。だから自分で自分を誉める。そして、励ます。淋しいことだけれど、これからは一人上手はずっと続くのだらう。



△筆者紹介△ 本名林陽子。朝鮮京城生まれ。戦後引き揚げて京都に住む。旧制同志社女専英文科卒。アメリカ系商社に就職。結婚。その後出産のため退社、以来専業主婦。「マイ・ブルー・ヘブン」で昭和六十年で中央公論女流文学新人賞を受賞。現在、東灘区在住。



□トランペット片手にブラジル一人歩き／37▽

ニュー・オルリンズ からオルランドへの旅

絵と文 右近 雅夫 △在ブラジル・サンパウロ▽

ニュー・オルリンズ滞在もいよいよ最後の日、僕等親子三人は朝早くから街に出て、カナル・ストリートからセント・チャールス線の市電に乗った。別に当ても無く、時間の許す限りそこいらを見て歩こうと云う考えからだ。街のビルの間を暫くガタゴト歩るとすぐ郊外に出る。

St. Charles Avenue はこの前、楽器を買いに行く時バスで通ったマガジン・ストリートと平行に走っている大通りである。鬱蒼と茂った大木の並木に囲まれ、真中に市電の線路、植え込みを隔てて両側に二車線のアスファルトが走っている。歩道に沿った大邸宅は曾ての綿の農園主の住いであろうか？ マガジン・ストリートの木造建築と全く対照的である。僕の住んでいるサンパウロのパウリスタ大通りも昔、僕等がブラジルへ移住して来た当時は市電が走り、カフェ全盛期の農園主の邸宅で占められていた。それが今から二十数年前、日本商社が進出する様に成って地価が急騰、現在は高層ビルの建ち並ぶ下を地下鉄が通り、昔の面影すら無い。女優、Brooke Shields が未だティーンの頃出演した映画、"Pretty Baby"に今世紀

初めのニュー・オルリンズが出て来るが、走っている車と通行人の服装さえ変えれば、その点ニュー・オルリンズの街は今もあの当時と全然変わっていない様に思える。

僕等は Loyola 大学前で下車すると引き返した。ホテルの主人のボビーが三時にタクシーを呼ぶ様手配してしてくれたからだ。ランチ・タイムだったのでホテルに戻る途中、Bourbon St. と Toulouse St. の角にある Cateria に立ち寄った。ヴァラエティーに富んだクレオール料理が自由に選べ、安くておいしいので、ニュー・オルリンズに来てから僕等はしょっちゅうこの店で食事をした。特に僕が気に入ったのはレッド・ピーンズ・サラダとマッシュメロウのサラダだ。

ホテルに帰るとボビーが手配してくれたメキシカーノのタクシーの運転ちゃんが待っていた。夢の様に過ぎた一週間、いよいよニュー・オルリンズともお別れだ。Basin Street を郊外に向け車を走らせながら、「昔、この辺には Casa de las Mun-equitas が有って、きれいな女の子が沢山おったもんや…」と僕等がブラジルからやって来たのを



Bourbon Street のマホガニーホールで Charles Fardela と演奏。

知って心安くスペイン語で運ちゃんが話しかけて来た。横から家内のマリアが、「ニュー・オルリンズは本当に良かったわ！私、北米が気に入ってしまった。まるで天国みたい！」とポルトガル語で叫んだ。それを聞いた運ちゃんが、「何？天国どころかまるで地獄だよ！仕事を終えて家に帰っても自分で夕食を作らにゃいかんし、働きが悪いと家内に殴られる。アメリカ人の女と結婚したのが間違いだっただよ！」とぐちを云った。

空港に着いてチェック・インを済ませてから、ホテルの部屋の鍵を返すのを忘れていた事に気が付いた。僕はあわててオリビエ・ハウスの電話をかけボビーを呼び出した。「予備のコピーが沢山あるから心配しなくてもいいよ！」と彼に云われたが、「サンパウロへ帰ったら君の好きなサンバ

のテープと一緒に郵送するから！」と僕は約束した。

ニュー・オルリンズを出発して一時間半程でオランダの空港に着いた。デイズニー・ランドのあるオランダの空港はとても近代的な建築で空港ターミナルとの間をモノレールで移動する。夜遅く着いたので広いターミナルに人影がまばらで、まるでフィクソンの映画のシーンの様だ。僕はマイアミやニュー・オルリンズで買った土産物の入った大きなトランクをロッカーに預けてHertzのレンタ・カーの受付に行った。車はトヨタの「カローラ」。僕はアメリカに来て生まれて初めてメイド・イン・ジャパンの車を運転する幸運に恵まれた。車に手荷物を積み込むと街に出る道順だけ尋ねて夜のハイウェイに出た。これから親子三人が泊るホテルを探さなければならぬのである。マイアミで夜、予約しといったホテル迂回道が解らなくて困ったので、今度は何処もリザーヴしないで行き当りばったりで探がそうと決めたからだ。空然夜空に「Holiday Inn」のネオンが見えたので、スピードを落して横道に入った。暫く行くと芝生の向うに三階建の明るい照明の建物が目についた。「Guest Quarters Suite Hotel」と看板が出ている。ニュー・オルリンズを発つ時ボップが「オランダでホテルを探すなら小さなホテルの方が安いよ！」と忠告してくれたのを思い出し、僕は値段を尋ねて見た。「シーズン・オフの特別サヴィス中なので一晩160ドルの処を59ドルにさせて頂きましょう！」と美人のレセプシヨニスタに云われ、僕は早速チェック・インする事にした。